



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 中外鉱業株式会社
コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 芳賀 一利

問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長

(氏名) 桜庭 勲

TEL 03-3201-1541

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	10,681	22.9	172	—	156	—	82	—
28年3月期第1四半期	8,691	149.0	△126	—	△140	—	△156	—

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 153百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 △149百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	0.29	—
28年3月期第1四半期	△0.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
29年3月期第1四半期	7,749		6,784		87.1		23.31	
28年3月期	7,645		6,677		87.2		23.02	

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 6,750百万円 28年3月期 6,667百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,800	△2.9	170	—	130	—	0	—	0.00
通期	33,000	13.1	410	—	340	—	30	—	0.10

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	289,747,982 株	28年3月期	289,747,982 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	95,282 株	28年3月期	95,282 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	289,652,700 株	28年3月期1Q	289,653,270 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境は改善傾向にあるものの、円高の進行、新興国の景気減退及び英国のEU離脱問題等の影響により、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況において、金・プラチナ価格は、6月後半は英国のEU離脱懸念等の金融市場におけるリスク回避の高まりから安全資産として金を買われたことで上伸したものの、米国利上げ観測及び為替相場等の影響を背景に総じて軟調に推移いたしました。宝飾市況においては、ダイヤモンド価格の下落及び個人消費の本格的な回復が見込めず、依然厳しい環境の下推移いたしました。不動産市況においては、住宅ローン減税や低金利の継続、東京オリンピック開催等により首都圏の不動産購買意欲は高まっており、不動産業界は活況を呈しております。中古住宅市場においては、政府の活性化策等の取り組みにより市場の拡大がみられる等、堅調に推移いたしました。機械事業においては、内需は、円高の進行及び設備投資関連の政府補助金の交付を予期した買い控え等、厳しい環境の下推移いたしました。外需は米国需要の一服感や中国経済の減速等、厳しい環境の下推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,681,192千円（前年同期8,691,343千円）、営業損益は172,308千円の利益（前年同期126,928千円の損失）、経常損益は156,973千円の利益（前年同期140,702千円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損益は82,789千円の利益（前年同期156,460千円の損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、売上高は9,375,305千円（前年同四半期7,703,595千円）、営業損益は18,621千円の利益（前年同四半期32,061千円の利益）となりました。

宝飾事業におきましては、売上高は354,745千円（前年同四半期538,937千円）、営業損益は13,868千円の損失（前年同四半期4,030千円の損失）となりました。

不動産事業におきましては、売上高は531,262千円（前年同四半期94,625千円）、営業損益は154,608千円の利益（前年同四半期6,442千円の損失）となりました。

機械事業におきましては、売上高は260,284千円（前年同四半期352,045千円）、営業損益は28,337千円の損失（前年同四半期41,388千円の損失）となりました。

投資事業におきましては、営業損益は137,037千円の利益（前年同四半期5,558千円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期期末における総資産の残高は、前連結会計年度末より104,120千円増加し、当第1四半期末は、7,749,881千円となりました。

増加の主なものは、預け金の増加（1,577,175千円から2,002,221千円へ425,046千円の増加）であります。減少の主なものは、現金及び預金の減少（902,973千円から715,156千円へ187,816千円の減少）および仕掛不動産の減少（329,518千円の減少）であります。

当第1四半期末における負債の残高は、前連結会計年度末より2,983千円減少し、当第1四半期末は、965,013千円となりました。

増加の主なものは、未払金の増加（35,518千円から75,153千円へ39,635千円の増加）であります。減少の主なものは、長期借入金の減少（388,980千円から354,060千円へ34,920千円の減少）であります。

当第1四半期末における純資産の残高は、前連結会計年度末より107,104千円増加し、当第1四半期末は、6,784,867千円となりました。

増加の主なものは、利益剰余金の増加（△6,083,094千円から△6,000,305千円へ82,789千円の増加）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点では平成28年5月13日付決算短信で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	902,973	715,156
売掛金	17,970	173,713
商品及び製品	1,061,761	1,135,108
仕掛品	258,422	182,891
原材料及び貯蔵品	11,732	15,339
販売用不動産	197,601	206,260
仕掛不動産	329,518	-
デリバティブ債権	-	49,600
預け金	1,577,175	2,002,221
その他	35,170	37,431
流動資産合計	4,392,328	4,517,723
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,394,038	1,394,038
減価償却累計額	△569,057	△584,733
建物及び構築物 (純額)	824,981	809,304
機械装置及び運搬具	520,298	516,240
減価償却累計額	△422,922	△423,153
機械装置及び運搬具 (純額)	97,375	93,086
土地	1,691,391	1,691,391
その他	112,385	112,385
減価償却累計額	△101,726	△102,007
その他 (純額)	10,658	10,377
有形固定資産合計	2,624,407	2,604,159
無形固定資産		
地上権	365,000	365,000
その他	7,715	7,364
無形固定資産合計	372,715	372,364
投資その他の資産		
投資有価証券	101,946	101,946
出資金	9,205	9,205
長期未収入金	487,019	487,019
敷金及び保証金	136,255	135,578
その他	8,903	8,903
貸倒引当金	△487,019	△487,019
投資その他の資産合計	256,310	255,633
固定資産合計	3,253,432	3,232,157
資産合計	7,645,761	7,749,881

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,390	35,424
関係会社短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	139,680	139,680
未払金	35,518	75,153
未払法人税等	35,617	11,307
デリバティブ債務	—	17
その他	43,260	45,109
流動負債合計	322,466	356,691
固定負債		
長期借入金	388,980	354,060
長期未払金	19,594	17,779
金属鋳業等鋳害防止引当金	3,953	3,953
預り敷金保証金	22,907	22,067
繰延税金負債	20,425	19,718
資産除去債務	189,670	190,744
固定負債合計	645,530	608,322
負債合計	967,997	965,013
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,782,064	12,782,064
利益剰余金	△6,083,094	△6,000,305
自己株式	△31,153	△31,153
株主資本合計	6,667,816	6,750,605
非支配株主持分	9,947	34,262
純資産合計	6,677,763	6,784,867
負債純資産合計	7,645,761	7,749,881

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	8,691,343	10,681,192
売上原価	8,452,026	10,153,018
売上総利益	239,317	528,173
販売費及び一般管理費	366,245	355,865
営業利益又は営業損失(△)	△126,928	172,308
営業外収益		
受取利息	17	5
国庫補助金収入	9,770	9,478
保険金収入	5,743	—
その他	624	1,244
営業外収益合計	16,156	10,727
営業外費用		
支払利息	2,628	2,238
休山管理費	24,572	22,229
その他	2,729	1,594
営業外費用合計	29,930	26,062
経常利益又は経常損失(△)	△140,702	156,973
特別利益		
固定資産売却益	148	259
特別利益合計	148	259
特別損失		
固定資産売却損	519	—
固定資産除却損	—	55
投資有価証券売却損	12,066	—
特別損失合計	12,585	55
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△153,139	157,177
法人税、住民税及び事業税	4,274	4,274
法人税等調整額	△935	△706
法人税等合計	3,339	3,567
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△156,478	153,609
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△18	70,820
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△156,460	82,789

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△156,478	153,609
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,928	—
その他の包括利益合計	6,928	—
四半期包括利益	△149,550	153,609
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△149,532	82,789
非支配株主に係る四半期包括利益	△18	70,820

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	宝飾事業	不動産事業	機械事業	投資事業		
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	7,703,595	538,937	90,617	352,045	—	6,147	8,691,343
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	4,007	—	—	—	4,007
計	7,703,595	538,937	94,625	352,045	—	6,147	8,695,351
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	32,061	△4,030	△6,442	△41,388	△5,558	△376	△25,736

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	8,691,343
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	△4,007	—
計	△4,007	8,691,343
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△101,191	△126,928

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ事業、太陽光発電による売電事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△101,191千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△101,191千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	宝飾事業	不動産事業	機械事業	投資事業		
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	9,375,305	354,745	527,255	260,284	144,985	18,615	10,681,192
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	4,007	—	—	—	4,007
計	9,375,305	354,745	531,262	260,284	144,985	18,615	10,685,199
セグメント利益又は セグメント損失(△)	18,621	△13,868	154,608	△28,337	137,037	2,538	270,600

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	10,681,192
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	△4,007	—
計	△4,007	10,681,192
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△98,291	172,308

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ事業、太陽光発電による売電事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△98,291千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△98,291千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。